

第五次総合計画づくりを進めています

Vol.1

魅力あるまち…。その想いは年齢、育ってきた環境、職業などで、一人ひとり違うことでしょう。市では、みなさんの描くさまざまな想いを集め、それらを「かたち」にする未来のまちづくり計画「第五次鳥羽市総合計画」づくりを進めています。

この計画は、平成23年度から32年度までの10年間にわたるまちづくりの目標を明らかにし、市民のみなさんと行政が共通の理念のもと、目標実現に向かって共に行動する指針となるもので、市の各種計画の最上位に位置づけられるものです。

今回から5か月間にわたり、この計画づくりの進み具合やできあがってきた計画案の内容をお知らせしていきます。

企画財政課企画調整係 ☎01101

まちづくりの指針 「総合計画」

市では、平成13年に第四次鳥羽市総合計画をつくり、「笑顔と感動に出会う鳥羽（まち）」という将来像の実現を目指し市政を運営してきました。さらに5年後の平成18年には計画の内容を一部見直し、現在は目標年度の平成22年度を迎え、施策の総仕上げに努めています。

しかしながら、この間にも急速に進む少子高齢化や人口減少など市を取り巻く状況は変化を続けており、より時代に即したまちづくりを進める

総合計画の構成

ため、平成23年度から10年間にわたる新しい第五次総合計画を策定することとしました。

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の三つの構成で組み立てることとします。そして、それぞれに次のような役割を持たせます。

1、長期計画としての「基本構想」

市が目指す将来のまちのすがたと、それを実現するための大きな方向性を描きます。基本構想について、市では10年の計画期間としています。

2、中期計画としての「基本計画」

基本構想で示した「鳥羽市が目指す将来のまちのすがた」の達成へ向け、5年間の施策目標を定めます。

また、計画達成の評価基準となる「成果指標」をつくり、みんなで取り組む明確な目標を掲げます。

3、短期計画としての「実施計画」

基本計画で示した施策目標を達成するための手段として、事業の実施年度や概要、役割分担を具体的に定めま

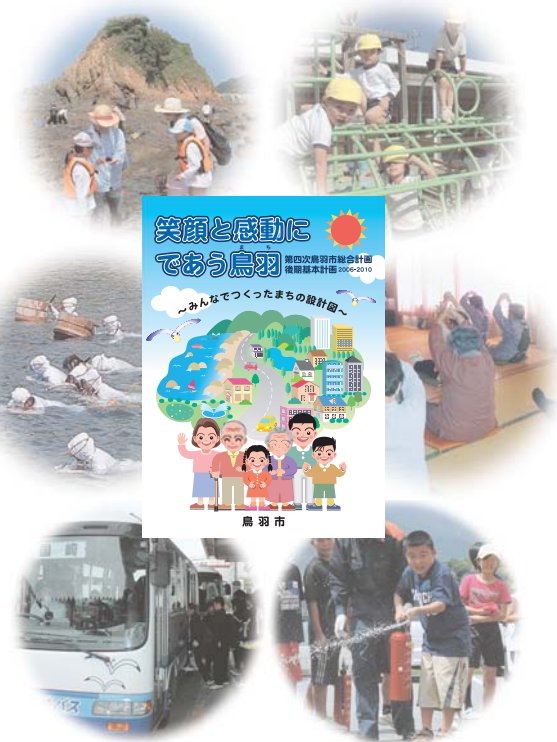
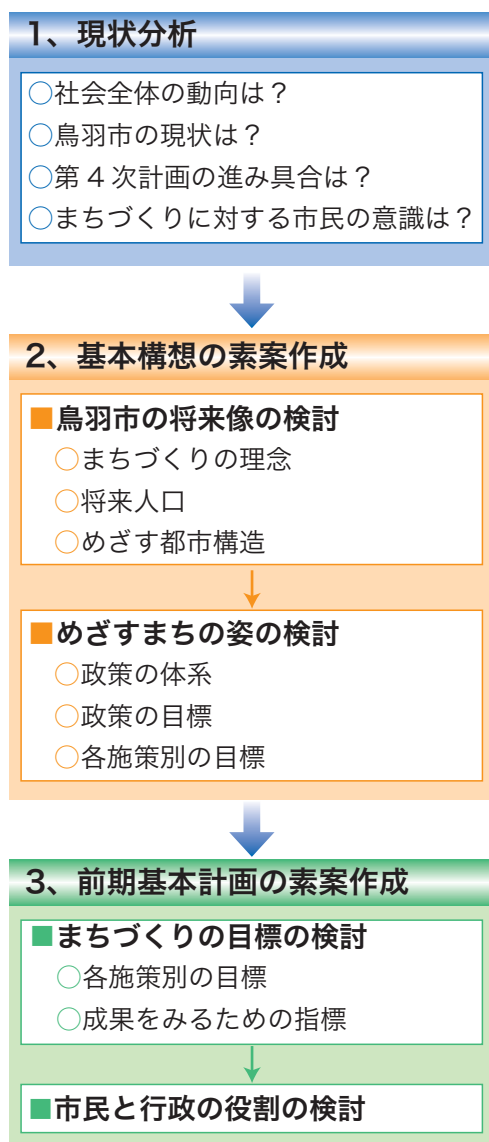


図1 総合計画の構成



図3 総合計画作成の流れ



計画づくりを みなさんと共に

計画づくりにあたっては、

市民のみなさんと行政が協働し、お互いに知恵を出し合いながら進めていくため、「総合計画審議会」と「まちづくり提言市民会議」を設置し、民間諸団体のかたがた、公募による市民委員のかたがたに加え、三重大学や皇學館大学の学識経験者にも参画していただいています。（図2参照）

●総合計画審議会の役割

総合計画審議会は、市長の求めに応じ、さまざまな見地から総合計画を審議し、意見を述べる機関です。

●まちづくり提言市民会議の役割

まちづくり提言市民会議は、

第五次鳥羽市総合計画（案）を、市民のみなさんや専門的な知識を有するかたとの協働で策定していくために設置した機関です。

会議では、これからの市のまちづくりに重要な論点・テーマを次の部会ごとに話し合っています。

◆産業・雇用部会

◆教育・文化部会

◆保健・福祉・医療部会

◆環境保全部会

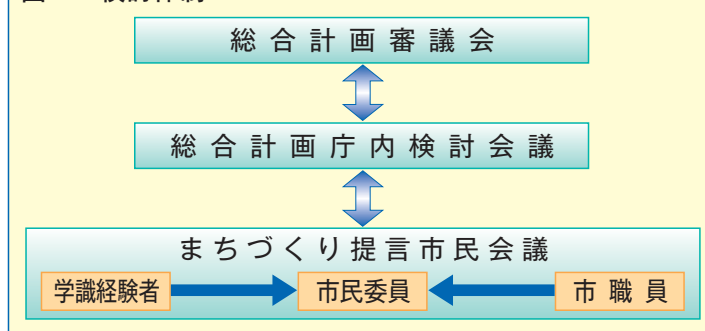
◆地域コミュニティ・防災部会

◆土地利用・都市基盤部会

この会議の内容は、「まちづくり提言市民会議かわら版」として、町内会の回覧でお伝えするとともに、市窓口などにも設置しています。

新しい総合計画ができあがるまでの流れについては、図

図2 検討体制



3のとおりとなっております。来月号では「1、現状分析」についてお伝えします。

都市マスタープランも つくっています

総合計画で市が目指すべき将来都市像をあらたに設定することから、今後の土地利用のあり方や道路、港湾などの都市施設整備など、将来のまちづくりに必要な基盤整備の方針・指針となる「都市マスタープラン」づくりも一緒に進めています。

- 今後も策定状況をお知らせしていきます
- 計画づくりの進行状況については、「市ホームページ」で最新情報をご覧ください。

総合計画ホームページ

URL <http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kikaku/dai5jikeikaku/sougoukeikaku.htm>

都市マスタープランホームページ

URL <http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/machi/tosikeikaku/tosikeikaku.htm>



部会の様子



総合計画審議会の様子



まちづくり提言市民会議かわら版



部会での意見をまとめます